

「喜界中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

喜界町立喜界中学校

2 学年・人数

女子生徒79人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

1学期後半からの保健体育の授業（中学校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和3年9月16日（木）保健体育学習発表会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

(1) 名称

八月踊り（はちがつおどり）

(2) 由来

「八月踊り」は町内の37集落に伝承されている。特に、集落ごとに行われる「豊年祭」や「島あそび」の際に踊られており、集落によって唄や踊り方に違いがある。また、踊られる行事も集落により異なっている。

(3) 構成等

「八月踊り」の特徴として、太鼓を持つのは原則として男性であり、皆が輪になり、同じ動きを繰り返しながら踊る。一昔前までは、唄者が実際に唄いながら踊っていたが、現在ではCDを音源として用いて踊っている。

5 保存会や地域との連携の具体

喜界島郷土研究会が中心となって、各集落の八月踊りDVDを製作した。中学校においては、集落の方に直接指導を受けるが、始めは踊りを覚えるためにこのDVDを活用している。集落によって唄や踊り方が違うため、毎年集落を決めて、その集落の八月踊りを行っている。本年度は、赤連集落の「八月踊り」の練習に取り組み、体育大会は新型コロナウイルス感染症流行拡大の影響により中止となったが、各学年ごとに時間をずらして保健体育学習活動発表会で発表した。

なお、例年、喜界高校の生徒と一緒に合同練習を行い、町民体育祭で発表しているが、今年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、合同練習及び町民体育祭は中止となった。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

毎年、該当する集落の方に事前に指導をしてもらっている。体育大会等での八月踊りの発表を行うことは、数十年と歴史は長く、八月踊りを楽しみにしている高齢者や地域の方も多し。

7 取組の様子



【1年生の発表】



【2年生の発表】



【3年生の発表】

8 参加生徒・保護者・保存会・教員等の感想や意見

【生徒】

- ・ 中学校で初めて取り組んで上手く発表できた。(1年生)
- ・ 自分の集落で踊っている八月踊りと違い難しかった。(1年生)
- ・ 練習の時間が少なかった。(2年生)
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で体育大会で発表できず残念だった。(3年生)
- ・ 中学校最後の体育大会や町民祭で発表できず残念だったが、発表会で披露できてよかった。(3年)

【教職員】

- ・ 生徒は、短い練習期間であったが積極的に練習に取り組んでいた。これまでも慣れ親しんでいるため、動きがスムーズであった。
- ・ 今年度は、8月に新型コロナウイルス感染症流行拡大があり、9月12日までの緊急事態宣言の影響のため、地域の指導者を招いての練習ができなかった。また、発表の場も、中学校体育大会や町民体育祭も中止となったため、生徒にとっては残念だった。